

令和7年度

「地域住民福祉活動情報交換会」 報告

区内19の連合町会を基礎エリアとして小地域福祉活動推進組織が設置され、地域の実状にあわせた様々な取り組みが行なわれています。

葛飾区には多様な地域資源が存在しています。19地区の中には、地域の特色を活かした流行スポーツでの交流をきっかけに多世代(地域住民)交流を活性化させよう！とする地区が生まれるなど、特色ある活動が広がりつつあります。

今年度は、「“つながり”を広げる、小地域福祉活動」をテーマに各地区で『小地域福祉活動』が果たしている役割や意義を皆さんと一っしょに考える機会にできればと企画しました。

また、今回は足立区社会福祉協議会が推進する「ふれあいサロン」の実践報告もあり、新たな視点や気づきを得られる内容になりました。

1. 日時 令和8年1月30日(金) 午後1時30分～4時30分
2. 会場 ウェルピアかつしか1階
3. 内容 第一部

(1) 講演

「地域のちからで広がる小地域福祉活動」

講師：日本社会事業大学 准教授 倉持香苗氏

第二部

(1) ①報告 「ふれあいサロン支援事業」

報告：足立区社会福祉協議会 鈴木正文氏

②報告 足立区ふれあいサロン「笑顔のひろば」

報告：田邊治代氏 野路美代子氏 重富義明氏
阿部純子氏 宮崎満枝氏 小島ゆかり氏

(2) 情報交換会(グループトーク) ※任意参加

《目次》P 2	当日の様子
P 4	アンケート結果
P 8	当日資料 ①講演資料(倉持准教授)
P 21	当日資料 ②報告資料(足立区社協)
P 27	当日資料 ③報告資料(笑顔のひろば)

社協 YouTube アカウントにて「第一部及び第二部(報告のみ)」を限定公開中です。

(令和8年7月3日金曜日午後5時まで)

※閲覧用 QR コードは本紙 2、3 ページに掲載しています (動画の無断転用・転載等はお控えください)。

講演「地域のちからで広がる小地域福祉活動」 倉持 香苗氏 (日本社会事業大学 准教授)

《講演トピックス》

- ・地域社会の変遷と福祉課題の変化
- ・地域住民に対する期待
- ・私たちに何ができるか
- ・「私」が楽しみながら地域づくりに関わる



動画は
こちら



地域のつながりからの安心感や、多様な人が
集まることで生まれるエネルギーなど、地域づく
りの本質的な楽しさを分かりやすくお話してい
ただきました♪



報告①「ふれあいサロン支援事業」 鈴木 正文氏 (足立区社会福祉協議会)

みなさんで楽しく集まり、仲間づくりを行い、生活の中に楽しみを
増やすことで生きがいができる。

そして普段の生活の中でも参加者同士でささえあえる…。

そんなきっかけをつくる場所が「ふれあいサロン」です。

動画は
こちら



どんなサロンがあるの？



おしゃべり・ウォーキング
体操・健康麻雀など様々！

皆さんの自由な発想で活動して
います。

支援事業



報告②「笑顔のひろば」

田邊 治代氏
阿部 純子氏

野路 美代子氏
宮崎 満枝氏

重富 義明氏
小島 ゆかり氏

どんな活動をしているの？

■定例（火）（金）の活動

- ・定例会
- ・ほほえみ俳句会
- ・じゃんけん脳トレ
- ・将棋を楽しむ
- ・脳トレ麻雀
- ・手づくり おしゃべり 他

催し物	14(火) 朗読と聞かまじゆ	1:30~3:00
	20(火) 手品と笑しもの	1:30~3:00
レ	6(火) 定例会	9:30~
レ	16(金) ほほえみ俳句会	1:00~3:00
レ	19(金) ゴッホと脳トレ	9:30~1:00
レ	27(火) 将棋を楽しむ	10:00~12:00
レ	23(金) 脳トレマニマニ	1:00~3:00
レ	16(金) 将棋を楽しむ	10:00~12:00
レ	23(金) マニマニ	1:00~3:00
レ	27(火) うたごえタイム	9:30~11:00
レ	30(金) 脳トレマニマニ	1:00~3:00
中止	俳句の中止	15(火) 17(水)
30(金)	ほほえみ俳句会	1:00~3:00
今年もよろしくお楽しみ致します		
皆様のお越しをお待ちしております		

動画は
こちら



手書きのチラシがより暖かさを感じさせます。
みんなが「笑顔」を大切に



「笑顔のひろば」への質疑応答動画はこちら



グループトーク（情報交換）

《情報交換会の様子》



グループに分かれ、各地区の状況、取り組み、課題共有のほか、講演・報告を聞いての感想の共有、今後行ってみたい活動について等、積極的に情報交換されていました。



令和7年度地域住民福祉活動情報交換会 参加者アンケート

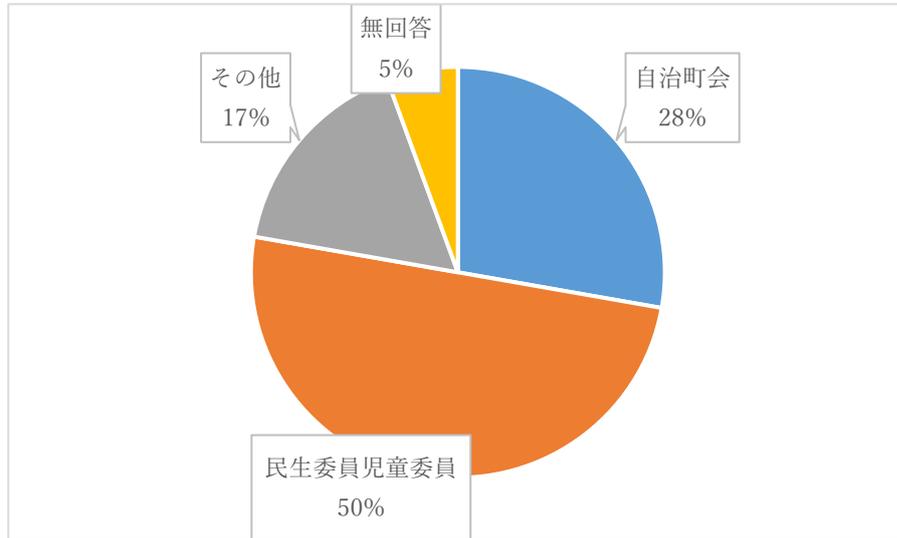
集計結果 回答 17人 参加者 28人

■所属

自治町会	民生委員児童委員	その他※	無回答
5	9	3	1

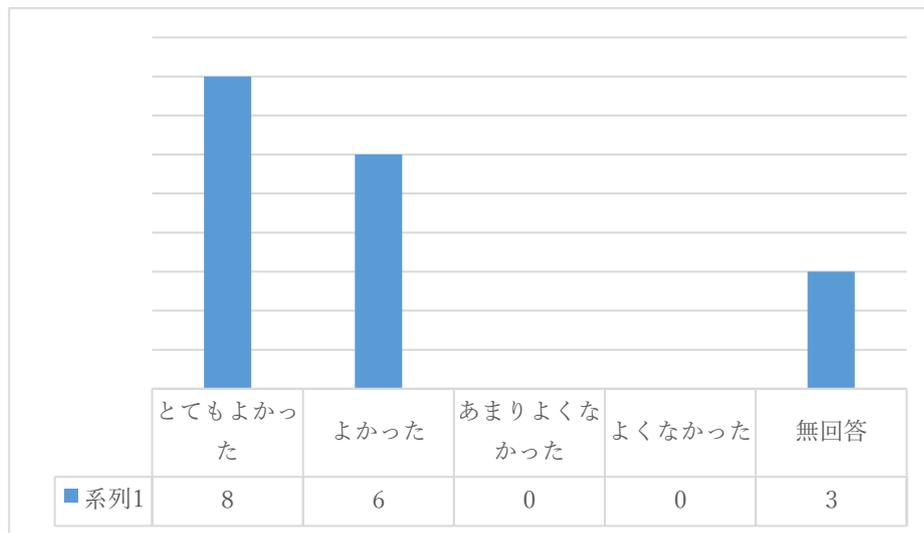
※その他 【区職員】、【地区センター長】、【弁護士】

*町会と民生の兼務回答 1



■講演についてお聞きします

1. 倉持香苗准教授による「地域のちからで広がる小地域福祉活動」について



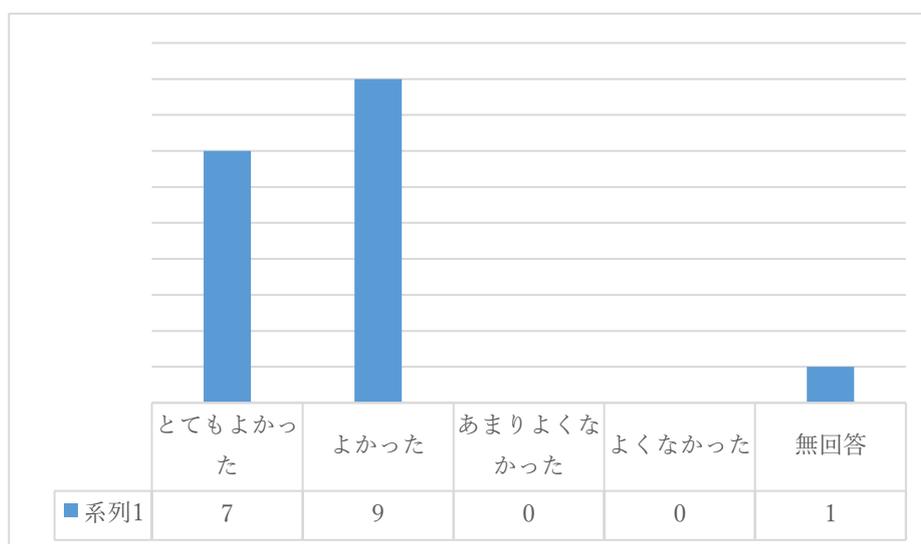
自由意見

- ・孤育て（孤食）という言葉に心の痛みを感じました。わかりやすくまとめていただきありがとうございます。
- ・コミュニティカフェ、一度行ってみようと思います。
- ・ポイントとして、「支え手、受け手が固定されない関係の構築」かと思った。

- ・午前中に社協の職員さんに聞いた内容と重なり、深まった。
- ・具体例が豊富でイメージしやすかった。色々な人が集まるとトラブルも増えると思うが、そのあたりの対処方や苦労話も聞いてみたいと感じました。下町ならではの居場所づくりのかたちもありそうですね。
- ・コミュニティカフェみんかふえで輪が広がる活動がとても良かった。
- ・具体的な例が理解しやすかったです。
- ・インターネットから得る情報だけではなく、顔のみえる地域のつながりが大切であると改めて知ることができました。
- ・自分が楽しむことが一番大事である。

■活動報告についてお聞きします

2.「足立区ふれあいサロン「笑顔のひろば」」の事例報告について



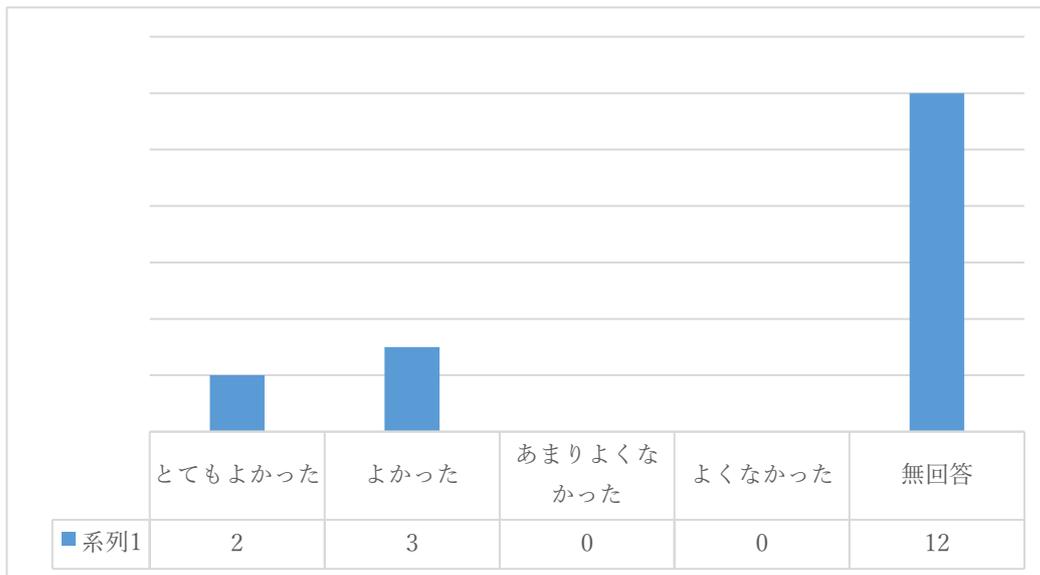
自由意見

- ・資金等にも努力し、皆さまの楽しみをつくり、大変と思いました。地域の皆さまの為というお心使い素晴らしいですね。
- ・田邊さんのパワーがすごいと思います。こういう方は、地域にまだまだいらっしゃると思うので、出会いたいです。
- ・週2回火水は大変ではないかと思いました。
- ・ハードで活動されていることが素晴らしいと思った。
- ・楽しさが伝わる報告内容でした。手作り感が満載で良かった。行動とつながる力、強いですね。
- ・具体例に富んでおり、わかりやすかったです。コミュニティカフェのように若い人達も参加してもらえると、人の輪が広がっていくものと感じました。区分所有のマンションも高齢化していますが、自治会も衰弱してきていますので、このようなサロンはほんとに必要だと思います。

- ・みなさんの楽しそうにお話をしている姿がとても良かった。
- ・実際の活動がよくわかりました。
- ・足立区では、「孤立ゼロプロジェクト」として、安心協力機関や安心協力員が活動しているとのこと。参考にしたいと思います。
- ・全員参加、全員が役割を持つ。

■情報交換会についてお聞きします

3. グループでの情報交換・・・いかがでしたか？



自由意見

- ・他地域のお話を伺うことができ参考になりました。
- ・他の地区の方々のお話を聞いてみる。
- ・自分たちが今やっているサロンに足りないところがあるか考えてみる。
- ・持ち帰りスタッフと話し合う機会になりました。
- ・色々なお話が聞けた。
- ・手書きの暖かさが重要だと思った。
- ・皆さまの熱量が感じられて大変勉強になりました。
- ・自分が楽しむことが大事である。人とつながり自分が成長。

4. 今回の情報交換会を通して、今後の活動の参考になりそうなことや、役立ちそうなこと、実践してみたいこと等がありましたか。どんなことか、ぜひ、ご記入ください。

自由意見・感想

- ・コミュニティカフェは参考になった。簡単な形で「ご自由に」みたいにはできないか検討したい。
- ・専門職に何ができるのか、何をすべきなのか非常に勉強になりました。
- ・現場にアウトリーチに行く必要性はありつつも消費者被害を実効的に防ぐためにはどこにどのようなお力添えすればよいのか今後も模索してまいります。
- ・居場所の具体的詳細が参考になった。活動の内容とかが特に！

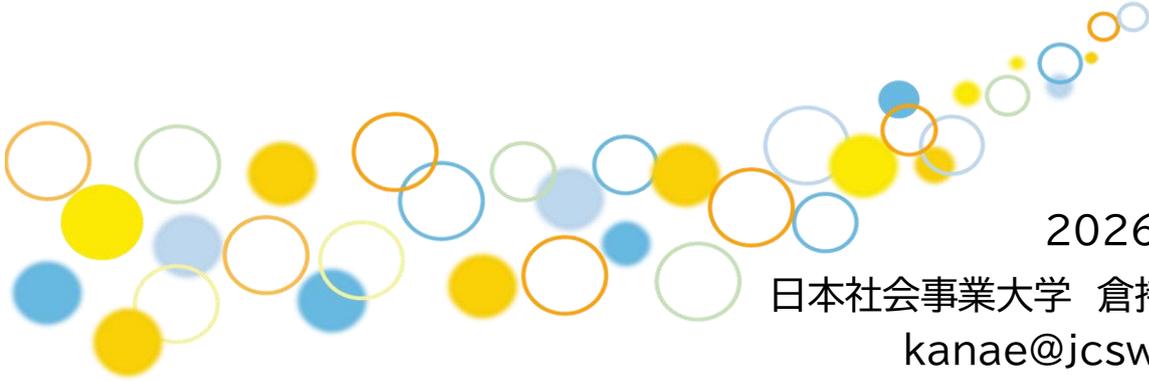
5. 本日、または今後の「地域住民福祉活動情報交換会」へのご感想・ご意見がありましたらご記入ください。

また、今後の情報交換会で取り上げてほしいテーマ等がありましたらご記入ください。

自由意見・感想

- ・地区で多くの方が参加できるよう働きかけていきたい。
- ・他地区との意見交換会は初の試みと伺いましたが、非常に有益だと思っておりますので、継続していただければと存じます。(調整が大変だとは思いますが…)
- ・具体的活動をより多く紹介してほしい。
- ・福祉活動の担い手をどう確保したら良いか効果的な取り組み事例等が知りたいと思っております。

地域のちからで広がる小地域福祉活動



2026/1/31

日本社会事業大学 倉持 香苗

kanae@jcsu.ac.jp

0. はじめに

本日の内容 ～ 地域づくりの楽しさを知る ～

1. 地域社会の変遷と福祉課題の変化
2. 地域住民に対する期待
3. 私たちに何ができるか
 - (1) 各地の事例紹介
 - (2) 葛飾区内の実践紹介
4. 「私」が楽しみながら地域づくりに関わる
～ 「場」づくりの醍醐味～

1. 地域社会の変遷と福祉課題の変化

(1) 地域社会の変遷

- ・ 日本には、地域(集落)を中心とした支え合う関係があった
- ・ 田植えや稲刈りなどを共同でおこなう「結い」
- ・ 信仰に基づいた「講」
- ・ 仲間で金銭の積み立てや受領をおこなう「頼母子講」など各種の「講」
- ・ 子ども会や町内会をはじめとする地域を基盤とした様々な組織
- ・ 人々が集う「場所」(例えばお寺、集会所、商店の前など)
- ・ 大人も子どもも、声を掛け合う関係



3

1. 地域社会の変遷と福祉課題の変化

(1) 地域社会の変遷

- ・ 1960年代の高度経済成長により生じた変化
 - ・ 若い世代は都市部へ → 過密化、地域における「馴染みの関係」の変化
 - ・ 地方では高齢化が進行 → 過疎化、若い労働力の流出
 - ・ 核家族化 → 子育ての助言者(高齢者)が不在
→ 家庭内における介護者(「嫁」「女性」)が不在
- ・ 「公園デビュー」「孤育て」
- ・ 個人情報保護法



4

1. 地域社会の変遷と福祉課題の変化

(2) 福祉課題の変化

- ・ 地域には様々な人がいる → 様々な課題がある
- ・ 戦後間もなく「福祉三法」が制定された（福祉課題に対する法制度の拡充）
「児童福祉法(1947)」「身体障害者福祉法(1949)」「生活保護(1950)」
- ・ 「縦割り」の法制度 → 分野(対象)ごとの施策の展開



- ・ 福祉課題の多様化 → 分野横断的なアプローチの必要性



5

1. 地域社会の変遷と福祉課題の変化

(2) 福祉課題の変化

- ・ 郊外化による生活の変化
 - ・ 郊外に大型ショッピングセンターの建設
→ 移動手段(車)があれば遊びに行ける♪
 - ・ 商店街の衰退(シャッター街)
→ 買物をする場所が無い！
- ・ 地域拠点の減少(公民館、集会所、寺社など)
- ・ 地域課題の複雑化/多様化
- ・ 社会的排除 ・ 孤立 ・ 制度の狭間
- ・ 人間関係の希薄化/無関心



6

2. 地域住民に対する期待

(1) 住民が主体的に地域を“創る”ことに対する期待

◆「新たな支え合い」の必要性

- ・少子高齢化の進行/高齢者一人暮らし世帯の増加
- ・定年退職後の団塊世代を中心とした地域における活動を通じた自己実現のニーズの高まり
- ・地域の生活課題に取り組むこと
→取り組む側/支援される側の双方にとって、地域での自己実現を可能にする
- ・地域における住民の支え合いを構築するために、見守りや声掛け、簡易なボランティア活動の拠点など、住民による地域福祉活動が積極的におこなわれるための活動拠点の設置が不可欠。

厚生労働省(2008)『地域における「新たな支え合い」を求めて—住民と行政の協働による新しい福祉—』

2. 地域住民に対する期待

(1) 住民が主体的に地域を“創る”ことに対する期待

◆誰もが支え合う地域の構築

- ・これまでの日本の福祉サービス→対象ごとに充実・発展
- ・様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、世帯単位で複数分野の課題を抱える状況
- ・分野を問わず包括的に相談・支援を行うことが必要
- ・支援を受けながらその人らしい生き生きとした生活を継続すると共に、ときには支え手に回り、あるいはともに支え合うことが重要
- ・地域住民の参加が重要(まちづくりの輪が広がる)
- ・「小さな拠点(多世代交流・多機能型の福祉拠点)」
- ・地域課題を話し合う「場」を提供する→まちづくりの取組が広がる期待

厚生労働省(2015)『誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—』

2. 地域住民に対する期待

(1) 住民が主体的に地域を“創る”ことに対する期待

◆地域共生社会の実現に向けて

- ・他人事を「我が事」に変えていく
- ・専門職による多職種連携、地域住民等との協働
- ・「支え手」「受け手」が固定されない、多様な参加の場、働く場の創造
- ・「待ち」の姿勢→早期発見、早期支援へ予防の観点
- ・「複合課題丸ごと」「世帯丸ごと」「とりあえず丸ごと」受け止める場

厚生労働省地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会(地域力強化検討会)(2017)

『地域力強化検討会最終とりまとめ～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ～』

2. 地域住民に対する期待

(2) 地域共生社会の実現に向けた具体的な施策

◆包括的支援と多様な参加・協働の推進

- 【3つの支援】
- ・断らない相談支援
 - ・参加支援
 - ・地域づくりに向けた支援

・地域共生社会の理念

人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方。

- ・一人ひとりの生が尊重され、複雑かつ多様な問題を抱えながらも、社会との多様な関わりを基礎として自律的な生を継続することを支援する機能の強化が求められている。

2. 地域住民に対する期待

(2) 地域共生社会の実現に向けた具体的な施策

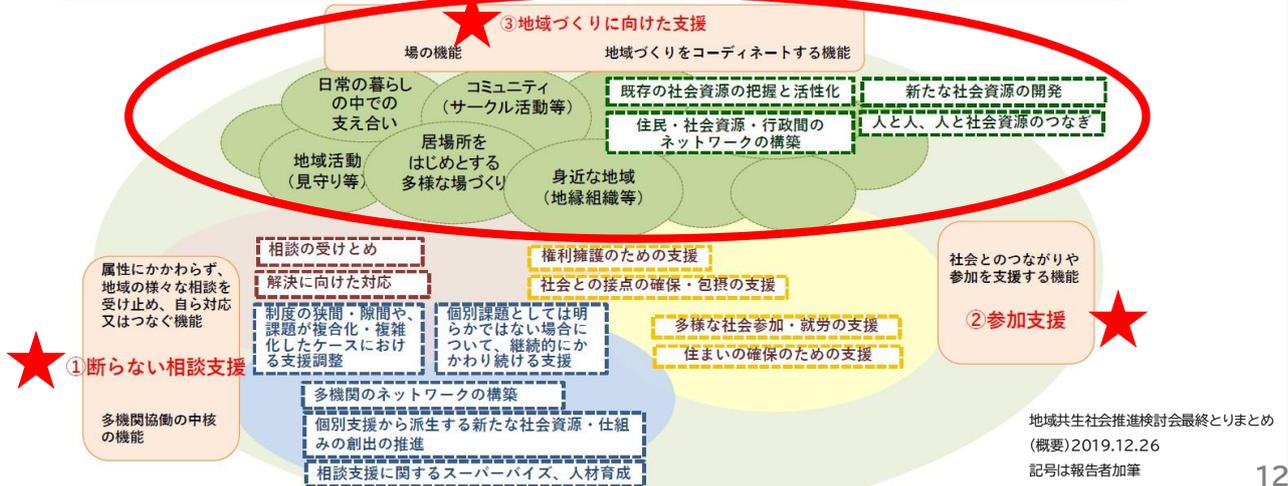
- ・ 専門職による対人支援 → 「具体的な課題解決を目指すアプローチ」
→ 「つながり続けることを目指すアプローチ(伴走型支援)」
- ・ 専門職による伴走型支援と地域の居場所などにおける様々な活動等を通じて日常の暮らしの中で行われる、**地域住民同士の支え合い**や**緩やかな見守り**といった**双方の視点**を重視する必要がある。(セーフティネットが強化され、重層的なものとなっていく)

厚生労働省(2019)『「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」(地域共生社会推進検討会)最終とりまとめ』

【ポイント】 ①「支え合う」→「受け手」「支え手」ではない ②総合的・横断的→分分野別ではない 11

新たな包括的な支援の機能等について

- ◆ 市町村がそれぞれの実情に応じて包括的な支援体制を整備するため、以下の支援を一体的に実施する事業を創設
 - ①断らない相談支援
 - ②参加支援(社会とのつながりや参加の支援)
 - ③地域づくりに向けた支援
- ◆ 本事業全体の理念は、アウトリーチを含む早期の支援、本人・世帯を包括的に受け止め支える支援、本人を中心とし、本人の力を引き出す支援、信頼関係を基盤とした継続的な支援、地域とのつながりや関係性づくりを行う支援である。



2. 地域住民に対する期待

(3) 地域づくりのポイント

- ・「支える人」と「支えられる人」の自己実現
 - ・「支える人」の自己実現
 - これまでの経験を活かしたい、誰かの役に立ちたい
 - ・「支えられる人」の自己実現
 - 何らかの支えがあれば〇〇ができるようになる
- ・「支える人」と「支えられる人」が入れ替わりながら支え合う

誰もが安心して暮らし続けるまちづくりにつながる

3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(0) 地域拠点としてのコミュニティカフェ

【コミュニティカフェの定義】

飲食を共にすることを基本に
誰もがいつでも気軽に立ち寄り
自由に過ごすことができる場所

(倉持2014)



倉持香苗『コミュニティカフェと地域社会
—支え合う関係を構築するソーシャルワーク実践』
明石書店, 2014年

【2011年(倉持)の定義】

「コミュニティカフェ、コミュニティレストラン、サロン、居場所など『地域で誰もが気軽に集える場所』を仮に「コミュニティカフェ」と総称する」(全国調査実施の際に定義)

3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(1) 各地の事例紹介

① 大規模団地の「つながり」づくり

【キーワード】

- ・ きっかけは… 団地内の孤立死
- ・ 利用者層
- ・ お酒を出す？ 出さない？
- ・ ケーキ(スイーツ)は誰が作る？
- ・ 参加を強制しない「緩やかな」場づくり

15

3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(1) 各地の事例紹介

② 高齢者施設と地域住民が協働する「場」づくり

【キーワード】

- ・ きっかけは… 地域(ご近所)に喫茶店が無い
- ・ 主体は住民
- ・ 施設、社協、住民との連携
- ・ 室内が見える (通りがかりの人も、ふらりと立ち寄ることができる)

16

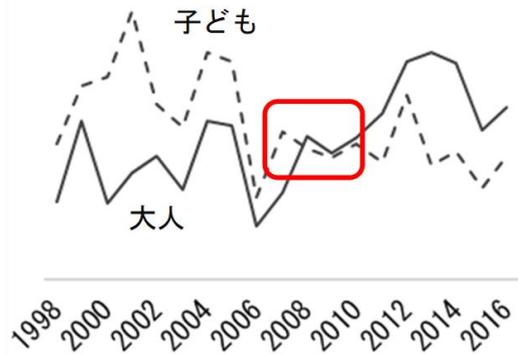
3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(1) 各地の事例紹介

③ 自宅を開放した「つながり」づくり

【キーワード】

- ・ きっかけは… 公園づくり
- ・ 障害の有無にこだわらない
- ・ 運営形態… 「個人」の活動が発展
- ・ 自己紹介 … 「つながり」をつくりための【仕掛け】



倉持香苗(2023)「地域共生社会における地域拠点設置の意義と運営の課題」『地域ケアリング』25(1) 54-59。

17

3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(1) 各地の事例紹介

④ 「孤食」支援はこどもだけでなく「みんなの」もの

【キーワード】

- ・ きっかけは… こどもの「孤食」
- ・ 専門職に相談が入ったけれど… 住民が主体的に「まちの食堂」を開始
- ・ 「食事をして帰る」だけでなく、「つながり」をつくることを意識
- ・ コロナ禍では「ポッチャ」を通じて「つながり」を保つ
- ・ コロナ禍明けに「見える化」された「つながり」と「緩やかな支え合い」

18

3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(2) 葛飾区内の事例紹介 「みんかふえ」



LINE公式アカウント
@201jemgo



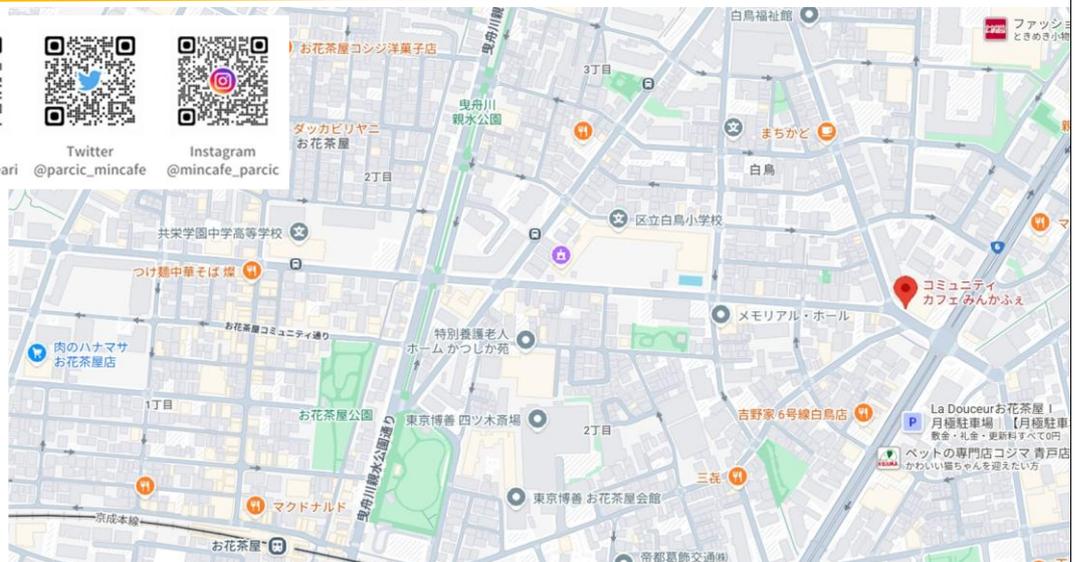
Facebook
@mincafe.kameari



Twitter
@parcic_mincafe



Instagram
@mincafe_parcic



3. 地域を基盤とする様々な「場」づくり

(2) 葛飾区内の事例紹介 「みんなふえ」

【キーワード】

- ・ きっかけは…
様々な国の支援をしてきたけれど…日本こそ「貧困」ではないか？！
- ・ 運営主体はNPO法人(民際支援)
- ・ フェアトレードのメニュー・商品(例えば東ティモールのコーヒー等)
- ・ 「おすそわ券」
- ・ 子ども食堂、フードパントリー(食材配付)、高齢者の見守り

23

4. 「私」が楽しみながら「場」を創る

(1) コミュニティカフェと「つながり」

開設理由	(%)
住民が交流する場所を作りたいかった	26.7
子ども・障がい者・高齢者などの居場所をつくりたいかった	21.7
地域を活性化させたいかった	13.6
働く場所を作りたいかった	13.1
飲食物提供の場所を作りたいかった	11.0
自分たちの活動拠点を創りたいかった	3.9
その他	7.7

「誰かのために」開設した割合
約6割



「知り合う」割合が高い

24

4. 「私」が楽しみながら「場」を創る

(2) 多世代が利用できる場づくりの醍醐味

【多世代が利用する地域拠点】

- 年上だったり年下だったり、学生さんだったり、男女問わず。それがすごく、情報交換じゃないけど、子育ての話ばかりじゃない話ができたりとか、そういうのがちょっと楽しいなあと思います。
- この間、うちの親の世代の人と「孫のことが心配だけど娘にどうやったら伝わるだろうか」という話をして。そういうことを聞くと「あ、そうか。親の世代はこういうようなことを考えているんだ」というようなことがいろいろとわかりあえることができるので。なかなか身内同士ではなかなかできないですね、感情が先に立ったりして。

出典:倉持香苗(2014)『コミュニティカフェと地域社会』明石書店 25

4. 「私」が楽しみながら「場」を創る

(3) 「私」が楽しむこと

・ 地域で元気に暮らすために

・ 「場」と「役割」



★ 担い手が「役割」を担うだけでなく

★ 参加者も「役割」を担う



その場に居る人が共に場を創り出す醍醐味

担い手として

負担感で一杯にならないように…

「今日は誰が来るかな？」
「どんなことがあるかな？」
という楽しみ

26

4. 「私」が楽しみながら「場」を創る

(4) 「できること」を「できる範囲」で

- ・ 専門職(機関)の役割と地域住民の役割 …… 地域住民は「背負わない」
- ・ 地域住民だからこそ、できることがある
 - 「ちょっとした」変化への気付き
 - 日常生活の中で「さり気ない」見守り
 - 専門職(機関)に「つなぐ」
- ・ 専門職(機関)と連携・協働する



【3つの支援】

- ・ 断らない相談支援
- ・ 参加支援
- ・ **地域づくりに向けた支援**

みんなで創り・育む安心して暮らせる「わがまち葛飾」

ご清聴ありがとうございました



令和7年度 地域住民福祉活動情報交換会 (2026.1.30)

足立区社会福祉協議会 ふれあいサロン支援事業

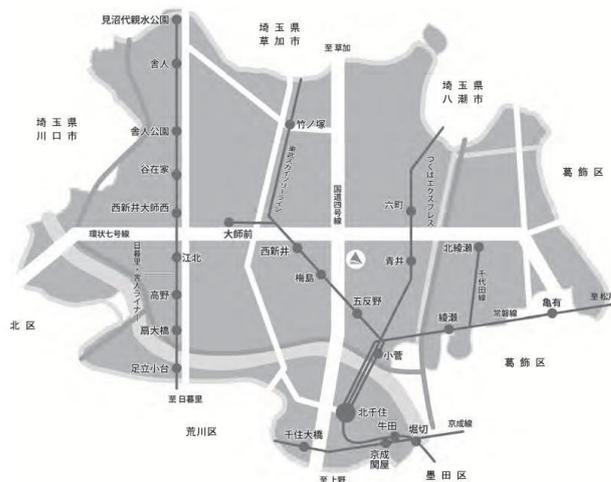
足立区社会福祉協議会
基幹地域包括支援センター



足立区

※足立区HPより

- ・東京23区最北端位置。
- ・区内総面積53,25km²(23区中第3位)
- ・人口：70万2千人(23区中第5位)
- ・高齢者人口：16万8千人(高齢化率23.94%)
- ・介護保険認定者：3万9千人
- ・身体障害者手帳所持者：2万3千人
- ・知的障害名簿登録者：6千人
- ・生活保護受給者：2万3千人
(保護世帯、人員数、保護率：23区中1位)
※令和7年7月現在
- ・町会・自治会数：約430団体(加入率44.44%)
- ・民生・児童委員定数：559名(25地区)
- ・地域包括支援センター：25か所
※令和6年4月現在



ふれあいサロンとは？

望まない**孤独・孤立**を防ぐために、

地域のみなさんが主体となつてつくる

「交流と支え合いの居場所」です。

みなさんで楽しく集まり、仲間づくりを行い、

生活の中に楽しみを増やすことで生きがいができる。

そして普段の生活でも参加者同士でささえあえる・・・。

そんなきっかけを作る場所が「ふれあいサロン」です。

どんなサロンがあるの？



お茶会

お料理



ゲーム

脳トレ

多世代交流

体操



おしゃべり・ウォーキング
体操・健康麻雀など様々！

皆さんの自由な発想で活動して
います。

なぜ孤立・孤独の防止か？

高齢期の社会的孤立と閉じこもり傾向による死亡リスク約2倍

(東京都健康長寿医療センター 平成30年7月27日)

社会的孤立は、全ての世代の健康に悪影響を及ぼす

高齢者の精神的健康維持には対面接触がベスト、非対面接触のみは次善の策

(東京都健康長寿医療センター 令和4年3月18日)

孤立・孤独に関する健康リスク

心疾患1.3倍、認知症2.1倍、うつ病2.7倍、自殺3.9倍、糖尿病1.4倍 等々

「通いの場」づくり施策とふれあいサロン

足立区は「**通いの場**」という施策として、地域包括支援センターに委託して行っている「**健康づくり・介護予防**」の居場所づくりを進めています。

「**通いの場**」とは、地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「**生きがいづくり**」「**仲間づくり**」の輪を広げる場所であり、地域の介護予防の拠点となる場所でもあります。

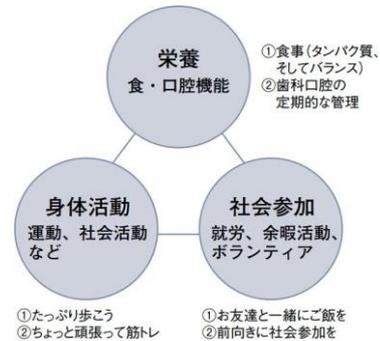
ふれあいサロン活動も「通いの場」の一つです。

「介護予防」とは？

「介護予防」とは？
健康な生活を長く続け、**介護を受ける状態にならないようにすること** ≡ **フレイル予防**

フレイル予防の3つの柱

「フレイル」とは？
虚弱状態。
加齢や生活習慣の乱れなどによって身体的、精神的、社会的な活力が低下した状態。



社会参加・活動の機会をつくる

足立区は「通いの場」という施策として、地域包括支援センターに委託して行っている「健康づくり・介護予防」の居場所づくりを進めています。

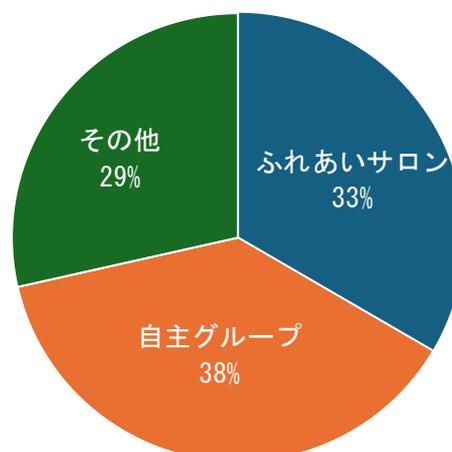


「通いの場リスト」掲載数

※足立区ホームページより
令和7年9月15日時点

「通いの場リスト」掲載数

- 総数…368か所
- 内訳 ふれあいサロン…123か所
自主グループ…140か所
その他…105か所



まとめ

社会参加と健康づくり(介護予防)が目的の**自主グループ**も、
地域での孤独・孤立防止で開かれた場を目的とする**ふれあいサロン**も、

活動趣旨は違えど同じ「通いの場」

お互いに顔を合わせて相互に支え合う場、
地域のみなさんが主体となつてつくる
「交流と支え合いの居場所」です。

ありがとうございました

足立区社会福祉協議会
基幹地域包括支援センター





実践報告
足立区社会福祉協議会
ふれあいサロン 笑顔のひろば

令和7年度
地域住民福祉活動情報交換会
実践報告（2026.1.30）

登壇者 笑顔のひろば



- 田邊 治代 さん（代表）
- 野路 美代子 さん（副代表）
- 重富 義明 さん（副代表）
- 阿部 純子 さん
- 宮崎 満枝 さん
- 小島 ゆかり さん

今日のお話し（実践報告）

- ・ふれあいサロン 笑顔のひろば 概要
- ・活動の方針（目的）は？
- ・活動のきっかけは？
- ・どんな活動をしているの？
- ・その他の活動は？
- ・スタッフの集め方（集まり方）は？
- ・活動を続けるポイント（大事にしていること）は？
- ・今後の活動について（展望など）

ふれあいサロン 笑顔のひろば 概要

- サロン名称：笑顔のひろば
- スタッフ：23名
- 参加人数：約20名
- 活動開始：2019年3月～
※ふれあいサロン登録年月
※絆のあんしん協力機関登録
- 年齢構成：50代～90代



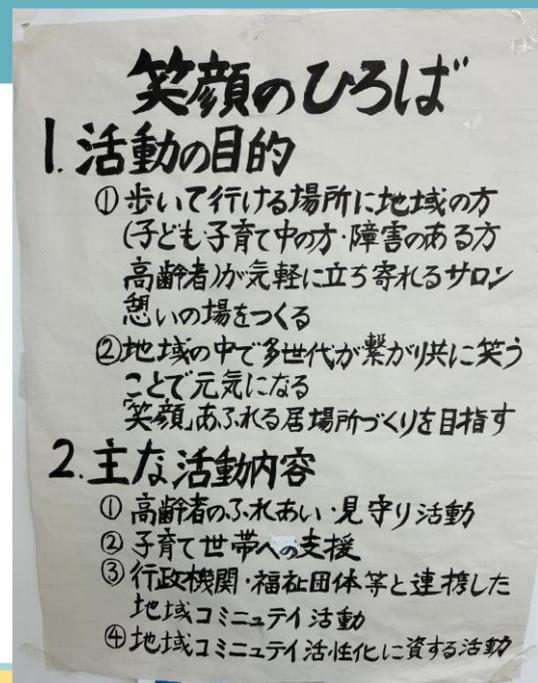
活動の方針（目的）は？

1 活動の目的

- ①歩いて行ける場所、
気軽に立ち寄れる場所
- ②「笑顔」あふれる居場所づくり

2 主な活動内容

- ①高齢者のふれあい、見守り活動
- ②子育て世帯への支援
- ③行政・福祉団体等と連携
- ④地域コミュニティ活性化に資する活動



活動のきっかけは？

■活動場所はUR団地（都市機構）の交流スペース
「コミュニティサロン105」

- ・ビーズづくりを楽しむ活動 活動場所はないか？
⇒URに相談
「コミュニティサロン」が利用可能に
- ・UR職員のサポート（周知等）を受けながら活動
⇒ビーズ以外に折り紙や手作り品の作成活動に発展
⇒近隣小規模保育園との交流
- ・自主的な活動の居場所
⇒社協ふれあいサロンに登録



どんな活動をしているの？

■定例（火）（金）の活動

- ・ 定例会
- ・ ほほえみ俳句会
- ・ じゃんけん脳トレ
- ・ 将棋を楽しむ
- ・ 脳トレ麻雀
- ・ 手づくり おしゃべり 他

催し物	1/4(水) 朗読と聞きましょう	1:30 ~ 3:00
	1/20(水) 手品を楽しもう	1:30 ~ 3:00
1/6(火)	定例会	9:30 ~
	ほほえみ俳句会	1:00 ~ 3:00
1/9(金)	ゴッコクニ脳トレ	9:30 ~ 11:00
	将棋を楽しむ	10:00 ~ 12:00
	脳トレマ-ゴッコ	1:00 ~ 3:00
1/16(金)	将棋を楽しむ	10:00 ~ 12:00
	脳トレマ-ゴッコ	1:00 ~ 3:00
1/23(金)	将棋を楽しむ	10:00 ~ 12:00
	手づくり おしゃべり	自由
1/27(火)	うたごえタイム	9:30 ~ 11:00
	脳トレマ-ゴッコ	1:00 ~ 3:00
1/30(金)	ほほえみ俳句会	1:00 ~ 3:00
<p>※ 1/30(金) 俳句会は中止になりました。</p> <p>◎ 今年もよろしくお願ひ致します</p> <p>皆様のお越しをお待ちしております</p>		

その他の活動は？

■文化祭

■UR団地内の地域交流イベント

■地域包括支援センターとの連携

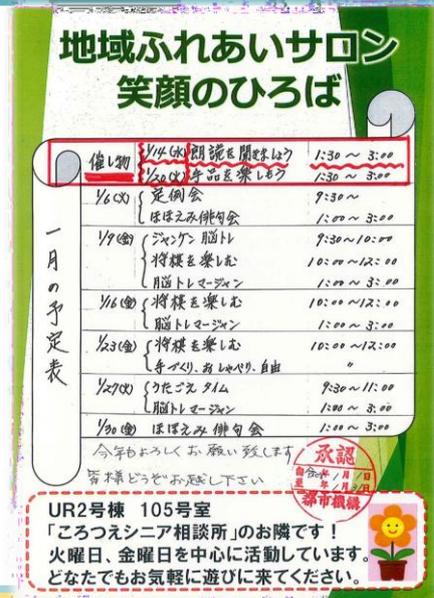
- ・ 絆のあんしん協力機関
- ・ オレンジ(認知症)カフェボランティア
- ・ 認知症の方との交流

■近隣の障がい者施設と活動交流



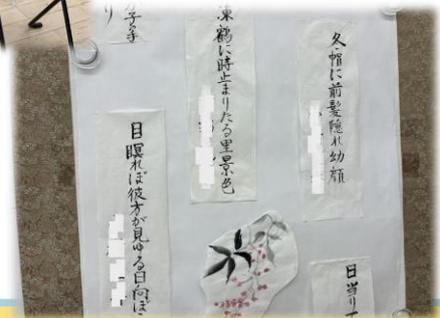
スタッフの集め方（集まり方）は？

- 横のつながり
 - ・ 口コミ
 - ・ UR団地見守り活動の声かけ
- 地域包括支援センターからの紹介
- あったかいものを
感じさせる 雰囲気づくり



活動を続けるポイント（大事にしていること）は？

- 一人ひとりの良いところ、
特技を引き出す
- 教えたり、教わったり、
みんなで参加する
- みんなが何かしらの役割を
持てるようにする
- 活動に活かせる情報がないか？
アンテナを張る



今後の活動について（展望など）

■もっと知ってもらいたい、参加してもらいたい

- ・孤立している人はまだいる

■人材発掘をしたい

- ・地域には魅力的な人がたくさんいる

■新しいものを取り入れて刺激を受けたい

- ・情報収集の場にしたい

■世代や分野を超えた交流をしていきたい

- ・認知症の方、障がいのある方、
ママ達等がホッとできる
居場所になりたい



ありがとうございました

足立区社会福祉協議会

ふれあいサロン 笑顔のひろば

